

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、富士市の「住民主体のまちづくり」・「青少年の健全育成」・「選挙」について、市民の意識・評価・要望などを把握することを目的とした。

2 調査の内容

「住民主体のまちづくり」・「青少年の健全育成」・「選挙」について

3 調査の設計

- (1) 調査地域 富士市全域
- (2) 調査対象 富士市在住の満 18 歳以上 80 歳未満の男女
- (3) 標本数 3,000 人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送調査
- (6) 調査期間 令和元年 6 月 12 日～7 月 2 日
- (7) 調査機関 株式会社トムス

4 回収結果

- (1) 発送数 3,000 人 (100.0%)
- (2) 回収数 1,502 人 (50.1%)
- (3) 有効回収数 1,502 人 (50.1%)

※有効回収数は、回収したが記入のない（または少ない）調査票を除いて集計した数。

5 地区別回収率

| 居住地区 | 発送数(人) | 有効回収数(人) | 回収率(%) |
|-------|--------|----------|--------|
| 吉原 | 145 | 60 | 41.4% |
| 伝法 | 133 | 72 | 54.1% |
| 今泉 | 145 | 79 | 54.5% |
| 神戸 | 43 | 21 | 48.8% |
| 広見 | 153 | 66 | 43.1% |
| 青葉台 | 130 | 44 | 33.8% |
| 大淵 | 151 | 86 | 57.0% |
| 富士見台 | 79 | 40 | 50.6% |
| 原田 | 95 | 50 | 52.6% |
| 吉永 | 96 | 47 | 49.0% |
| 吉永北 | 42 | 19 | 45.2% |
| 須津 | 138 | 79 | 57.2% |
| 浮島 | 17 | 8 | 47.1% |
| 元吉原 | 94 | 47 | 50.0% |
| 富士駅北 | 150 | 57 | 38.0% |
| 富士北 | 97 | 59 | 60.8% |
| 富士駅南 | 140 | 74 | 52.9% |
| 田子浦 | 174 | 83 | 47.7% |
| 富士南 | 202 | 97 | 48.0% |
| 岩松 | 117 | 66 | 56.4% |
| 岩松北 | 114 | 39 | 34.2% |
| 鷹岡 | 135 | 69 | 51.1% |
| 丘 | 149 | 52 | 34.9% |
| 天間 | 77 | 35 | 45.5% |
| 富士川 | 105 | 68 | 64.8% |
| 松野 | 77 | 39 | 50.6% |
| その他 | 2 | - | - |
| わからない | - | 29 | - |
| 無回答 | - | 17 | - |
| 合計 | 3,000 | 1,502 | 50.1% |

報告書を読む際の注意事項

- 1 比率はすべて百分比であらわし、小数点以下第2位を四捨五入している。このため百分比の合計が100%にならないことがある。
- 2 基数となるべき調査数は、n または調査数と表示しており、回答比率はこれを100%として算出した。
- 3 1つの質問に2つ以上回答できる設問の場合は、百分比の合計が100.0%を超える場合がある。
- 4 分析の軸として用いたライフステージは、次のように分類している。

| | |
|--------|--------------------------------------|
| 独身期 | 18～39歳の未婚者 |
| 家族形成期 | 第一子が未就学児、または40歳未満の夫妻のみ |
| 家族成長前期 | 第一子が小・中学生 |
| 家族成長後期 | 第一子が高校・大学生 (大学生・短大生・専門学校生・浪人生を含む) |
| 家族成熟期 | 第一子が学校教育終了 |
| 老齢期 | 60歳以上の人 |

※ 家族形成期～家族成熟期の子どもがいる人は、いずれも60歳未満の人とした。40代・50代の未婚者、40代・50代の夫妻のみなど、分類されていない層がある。

I 調査の概要

5 この調査は、無作為抽出により対象者を抽出したので、標本誤差は次式で近似できる。

$$\varepsilon = 2 \sqrt{\frac{P(1-P)}{n}}$$

ε : 標本誤差
 n : 標本の大きさ
 P : 回答比率

回答者総数（1,502人）を100%とする質問で、ある回答選択肢に対する回答比率が50%であるとすると、母集団（18歳以上の富士市民全体）の回答比率は47.5%～52.5%の間であると推定される。

| 回答比率 | 標本誤差 |
|-----------|-------|
| 50% | ±2.5% |
| 60%または40% | ±2.4% |
| 70%または30% | ±2.3% |
| 80%または20% | ±2.0% |
| 90%または10% | ±1.5% |